

列王記第一 19章1節～14節（預言者エリヤ）

「三つの山から見える壮大な神様の計画: シナイ山、変貌山、シオンの山」

1. シナイ山
2. 変貌山
3. シオンの山

+ヨルダン川

結論：預言者エリヤは「アブラハム契約、律法（旧約）」を「新しい契約」に繋げる役割

メインテーマの山の話へ

1. シナイ山（ホレブの山）

燃える芝: 神の山ホレブにやってきた。出エジプト3:1

エジプトを出た後、神の山に戻った理由

神は仰せられた。「わたしが、あなたとともにいる。これが、あなたのためのしるしである。このわたしがあなたを遣わすのだ。あなたがこの民をエジプトから導き出すとき、あなたがたは、この山で神に仕えなければならない。」"出エジプト記 3章12節

出エジプト19章 シナイの荒野、山の前に宿営、神の声がかかる

四十日四十夜モーセが契約を受け取る：

モーセは神の山に登った。出エジプト24:13

栄光はシナイ山の上にとどまり、出エジプト24:16

申命記：ホレブの山

主はホレブで私たちと契約を結ばれた。申命記5:2

エジプトからイスラエル民を導きだしてからモーセが十戒の板をもらったのがシナイ山

40日40夜、シナイ山の上においてシナイ契約（律法）を受け取った。（十戒はその一部）

神様の聖さと厳しさが示された一雷、火、厚い雲、ラッパの音

山に触れる者は、だれでも必ず殺されなければならない。" 出19章12節

大きなラッパの音に「民は震え上がった」

"彼らはモーセに言った。「あなたが私たちに語ってください。私たちは聞き従います。しかし、神が私たちにお語りになりませんように。さもないと、私たちは死んでしまいます。」

それでモーセは民に言った。「恐れることはありません。神が来られたのは、あなたがたを試みるためです。これは、あなたがたが罪に陥らないよう、神への恐れがあなたがたに生じるためです。」 "

出エジプト記 20章19～20節

エリヤ:「神の山ホレブ」 列王記第一19章

神の山ホレブは、シナイ契約の山。たまたまそこに来たのではない。

神様の契約というのは、前の契約に基づいて、その上に次の契約が重ねられる

シナイ契約もアブラハム契約に基づいて与えられた。

アブラハム契約がイスラエルの民と結ばれた契約のスタート

"主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」 "

創世記 12章1～3節

アブラハム、イサク、ヤコブへと継承される

ヤコブの12人の息子からイスラエル民族が生まれる

アブラハム契約のゆえにエジプトで奴隷になっていたイスラエルの民をモーセを通して導きだし、シナイ契約を与えた。つながっている！

エリヤの時代においても、アブラハム契約、シナイ契約がベースになっている。

「神の山ホレブ」 列王記第一19章でその事がわかる

文脈ーカルメル山でのバアルの預言者たちとの対決

18:38 主の火が降った

18:40 バアルの預言者たちを殺した

19:2 イゼベルがエリヤを殺そうとしている

列王記第一19章3節～7節 聖書箇所を開く

ベエル・シェバで若いものを残し、荒野に

自分の死を願うーネゲブ砂漠の乾燥（井戸水ーユダの山地の最南端）

「主の使い」の励まし、2回

ベエル・シェバ（アブラハム、イサク、ヤコブ）

ヤコブとの対比

エサウが殺そうとしているから逃げたーイゼベルから

ヤボクの渡し場で自分だけ残ったー若いものを残し

「主の使い」と戦うー「主の使い」のなぐさめ

これは型というー同じような事を通して将来起こる預言の成就などにつなげる

エリヤとアブラハム契約をつなげている

モーセ、シナイ契約ともつながるのが、同じ山に導かれる 600年後

列王記第一19章8節～14節 聖書箇所を開く

四十日四十夜歩いて「神の山ホレブ」に導かれる

モーセが律法を受け取った山、人々が神様を恐れた山

洞窟に隠れているエリヤを呼び出す

イスラエルの民が契約を捨てたことを報告

主のパニームに招かれる

シャカイナ・グローリー、モーセの時とは違う体験

主の臨在そのものは、そこにはない

主のパニームはかすかな細い声にーイエスの働き、新しい契約の型

神の山ホレブ

モーセとの対比

四十日四十夜シナイ山にいたー四十日四十夜歩いて

契約を受け取るー契約を捨てた報告

民は火をおそれたー火のあとの「かすかな細い声」

山を降りる時に顔を覆うーすぐに外套で顔をおおう

2回契約の板を受け取るー2回同じ報告をする （民の裏切り）

エリヤの役割

エリヤは族長たちのアブラハム契約の流れを汲み

モーセのシナイ契約のホレブの山（シナイ山）で「主の前に立ち」  
「かすかな細い声」という新しい啓示一火を恐るから前進  
新しい契約へとつながるイエスの働きは「かすかな細い声」のスタイル  
いのちを取ってくださいー苦難のしもべ、キリストと死ぬ

エリヤが旧約（律法と預言）を新約をつなげる：マラキの預言

"あなたがたは、わたしのしもべモーセの律法を覚えよ。それは、ホレブでイスラエル全体のために、わたしが彼に命じた掟と定めである。

見よ。わたしは、主の大いなる恐るべき日が来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、この地を聖絶の物として打ち滅ぼすことのないようにするためである。"マラキ書 4章4～6節

バプテスマのヨハネにつなげるールカ1章

祭司ゼカリヤは神殿の聖所（パニーム）でヨハネの誕生預言  
ヨハネは「エリヤの霊と力で」マラキの預言引用ールカ1:17

ヨハネはエリヤ本人ではない、役割も果たさなかった（イエスの言葉）

"すべての預言者たちと律法が預言したのは、ヨハネの時まででした。あなたがたに受け入れる思いがあるなら、この人こそ来たるべきエリヤなのです。"マタイの福音書 11章13～14節

ここで、バプテスマのヨハネが活動をしたヨルダン川が関係してくる。

エリヤが挙げられた現場はエリコ付近のヨルダン川

モーセのあと、ヨシュアが水をわけた

エリヤとエリシャも水をわけた

バプテスマのヨハネがイエスに洗礼（公生涯スタート）

つまりここは、世代交代の場所、働きを継承している

イエスは水をわけず「かすかな細い声」で活動

天からの声でヨルダン川と変貌山が関連づけられている

"聖霊が鳩のような形をして、イエスの上に降って来られた。すると、天から声がした。「あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。」"

ルカの福音書 3章22節

"彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲が彼らをおおった。すると見よ、雲の中から「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け」という声がした。"

マタイの福音書 17章5節

変貌山ーモーセとエリヤとイエス

"そして、見よ、二人の人がイエスと語り合っていた。それはモーセとエリヤで、栄光のうちに現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について、話していたのであった。"ルカの福音書 9章30～31節

"すると雲の中から言う声がした。「これはわたしの選んだ子。彼の言うことを聞け。」"ルカの福音書 9章35節

おそらくヘルモン山、歴史にない山、北の一番高地、天の御座を？  
モーセ（律法）、エリヤ（預言者代表、エレミヤ、マラキ）ーイエスに継承  
変貌山で次の山の会話をしているエルサレム＝シオンの山

エルサレム（シオンの山、モリヤの山）

イサク奉獻（創世記22章）：紀元前2000年頃 モリヤの地の山

ダビデ契約（紀元前1010～970年頃）イエスはダビデの子

ソロモンの神殿 エルサレムのモリヤの山で主の宮の建築 歴Ⅱ 3:1

時代の流れの確認

エリヤ（紀元前9世紀半ば、アハブ王時代）：北イスラエル活動

エレミヤ（紀元前6～7世紀）：南ユダ滅亡、バビロン捕囚「新しい契約」

マラキのエリヤ預言（紀元前5世紀）

モーセとエリヤの働きを継承したイエスがシオンの山（エルサレム）で完成

結論：預言者エリヤはアブラハム契約、律法（旧約）ー新しい契約へとつなげてくれた人物

1. モーセ（律法）とエリヤ（預言）がイエスに集約される  
旧約の二大柱が、新約の完成者イエスと共に立つ。
2. 会話の内容：「エルサレムでの最期」  
シオンの山（エルサレム）での十字架。  
旧約の律法と預言がキリストの十字架によって成就することを表す。

「新しい契約」は誰と結ばれたのか？

ヘブル8：6ー12（エレミヤ31：31～34の引用）

イスラエルの民  
イエスと弟子たち（2000年まえ、エルサレム）  
顔と顔を合わせて（最後の晚餐）  
モーセではなく、イエスが仲介者  
大祭司イエスによって今のわたしたちも接木（ローマ11章）  
聖霊によって新しい契約にあずかる

#### ヘブル12章18節～24節

エリヤがパニームで教わったことと同じ ことばのとどろき vs かすかな細い声  
シオンの山：生ける神の都 である天上のエルサレム  
新しい契約の仲介者イエス

かすかな細い声：イエスの公生涯、聖霊の働きの型

"アブラハムには二人の息子がいて、一人は女奴隷から、一人は自由の女から生まれた、と書かれています。女奴隷の子は肉によって生まれたのに対し、自由の女の子は約束によって生まれました。

ここには比喩的な意味があります。この女たちは二つの契約を表しています。一方はシナイ山から出ていて、奴隷となる子を産みます。それはハガルのことです。

このハガルは、アラビアにあるシナイ山のことで、今のエルサレムに当たります。なぜなら、今のエルサレムは、彼女の子らとともに奴隷となっているからです。

しかし、上にあるエルサレムは自由の女であり、私たちの母です。"

ガラテヤ人への手紙 4章22～26節

#### マタイの福音書 17章10～13節

"すると、弟子たちはイエスに尋ねた。「そうすると、まずエリヤが来るはずだと律法学者たちが言っているのは、どういうことなのですか。」

イエスは答えられた。「エリヤが来て、すべてを立て直します。

しかし、わたしはあなたがたに言います。エリヤはすでに来たのです。ところが人々はエリヤを認めず、彼に対して好き勝手なことをしました。同じように人の子も、人々から苦しみを受けることになります。」

そのとき弟子たちは、イエスが自分たちに言われたのは、バプテスマのヨハネのことだと気づいた。"

山のまとめ：

モリヤの山（シオンの山）イサク奉献

神の山ホレブ（シナイ山）モーセと燃える柴

シナイ山（ホレブの山）律法

エルサレム（シオンの山、モリヤの山）ダビデの町、ダビデ契約

モリヤの山（エルサレム、シオンの山）ソロモンの神殿

神の山ホレブ（シナイ山）エリヤがパニームに立つ

変貌山 モーセとエリヤとイエス（ダビデの子）

エルサレム（シオンの山、モリヤの山）イエスの働き

シオンの山：生ける神の都 である天上のエルサレム